

英語の中のラテン語源単語(24)

－中学生以上の英語学習者のために

19.09.15

所内ラテン語研究会

1 *Aequitas non facit jus, sed juri auxiliatur.*

これは、「衡平は法を作らないが法を補充する」と訳すことができます。中文では、“衡平并非法律, 而只是补充法律”と訳すことができます。

2 *aequitas* (女性名詞) は *equity, impartiality, fairness, justice* 等を表わしますが、英語 *equity* は法体系との関連では英米法の *common law* を補うものとしての「衡平法」を意味します。関連ラテン語としては、*aequabilis, aequalis, aequare, aequum, aequus* 等があります。これらに関連する英単語としては、次のものを列挙することができます。

(1) *equal, equality*

(2) *equanimity*

(3) *equate, equation*

(4) *equator* (2分するものとして「赤道」等を表わします)

(5) *equinox (equi + nox), equinoctial*

(6) *equity* (出資持分又は株主持分という意味もあります)

(7) *equitable*

(8) *equivalent*

(9) *equivocal*

(10) *adequate*

(11) *equilibrium*

3 *jus* 及び *juri* は、それぞれ中性名詞 *jus* の単数対格及び単数与格を示しています。

4 *auxiliatur* は *deponent* 動詞 *auxiliari* の直説法、現在、単数、3人称であつて、*to help, assist, support* 等を表わし、与格を支配します(従つて、*juri* は与格ということになります)。この動詞は名詞 *auxilium* と関連しますが、後者は第2変化動詞 *augere* (*to make grow, to increase* 等。その完了受動分詞は *auctus* であり、不定法、完了、能動相は *auxisse* です) に由来します。これらに関連する英単語としては、次のものが含まれます。

(1) *auction, auctioneer*

(2) *augend*

- (3) augment, augmentative
- (4) august
- (5) author
- (6) authority, authoritative, authorize
- (7) auxiliary (文法用語「助動詞」という意味もあります)

ところで、上記 *augere* は印欧語根 *aug-* (to increase) から分出したものですが、この語根からはラテン語男性名詞 *augur* (*augur*, *soothsayer* 等) も分出しています。このラテン語名詞に関連する英単語は、次のとおりです。

- (1) *augur*, *augury*
- (2) *inaugurate*, *inauguration*

そして、英単語 *eke* (*eke out* としてよく用いられる語)、*wax* (反意語は *wane*) 等は、上記ラテン語とは関係なく上記印欧語根にたどりつくことのできる語です。

- 5 なお、ローマ帝国皇帝を表わす *Augustus* はラテン語形容詞 *augustus* (*holy*; *majestic*, *dignified* 等) に由来し、初代皇帝 *Gaius Julius Caesar Octavianus* に与えられたものです。英語 *August* (8月) は *Augustus* に対し、また *July* (7月) は *Julius Caesar* に捧げられた月名であると伝えられています。
- 6 ラテン語の辞書を引くと、たとえば第 1 変化動詞 *amare* は見出し語として掲載されておらず、その直説法、現在、能動相、単数、1 人称を表わす *amo* (以下においては、各動詞についてこの形式に相当するものを「辞書形」といいます) がのっています。そして、*amo* の後には *amare*, *amavi*, *amatum* が続きます。*amare* は不定法、現在、能動相であり、*amavi* は直説法、完了、能動相、単数、1 人称であり、*amatum* は *supinum* (英語 *supine*) と呼ばれる動詞状名詞 (又は目的分詞) であり完了受動分詞、中性、単数主格・対格と同一の形をしています。
- 7 これに対し名詞 *amor* (単数主格) の後には *amoris* (単数属格) が続き、更に *m* (即ち *masculine*) という表示があるので男性名詞であることがわかります。
- 8 ロシア語コーナー
上記 1 中のラテン語文をロシア語で表わすと、次のようになります。
Aequitas non facit jus, sed juri auxiliatur – *Справедливость не создает закон, но помогает закону.*

9 初歩的数学用語コーナー

(1) 約数 factor, divisor

factor は、ラテン語 factor (maker, doer, performer 等) がそのままの形式で英語に入った語です。

(2) 公約数 common factor, common divisor

(3) 最大公約数 the greatest common factor, the highest common divisor

(4) 倍数 multiple

multiple は、後期ラテン語 multiplus (manifold 等) から派生した語です。

(5) 公倍数 common multiple

(6) 最小公倍数 the least common multiple, the lowest common multiple